

6月30日（月）

それを持って行きなさい！

聖書朗読 詩篇 49：5～15

あなたがたは、・・・いつまでも残る財産を持っていることを知っていたので。

ヘブル 10：34

警告として、または単に格言として、私たちが何千回となく聞いているものに、「死ぬときには持って行けないのだからね」というフレーズがあります。地位や財産にかかわらず、この世を去るときには、生まれて来たときと同じように、裸で、力なく、空っぽの手で行かなければならないのです。

この詩篇の作者は寺院に仕えるコラの子たちですが、人々の野心や欲望へ警鐘を鳴らしています。コラの子らは寺院の中で、豊かな富を誇る者たちを見ていたにちがいません。人間が必要とするのは、財産ではありません。

昔から使われている慣用句に、「最も多くのおもちゃを手に入れて死ぬ男が勝つ」というのがあります。残念ながら、最も多くのおもちゃを手に入れて勝っても、やはり死ぬのです。お金は長寿や生活の質や未来を保証することはできません。もし所有するものによって自分の人生を定めるとしたら、一時、一時間、一日、一週間、一か月すれば無くなってしまうかもしれない物によって自分の人生を定めているということになってしまいます。

私たちはお金で魂を買い戻すことはできません。しかしながら、神様の贈り物である永遠の命を、神様の御子の犠牲を通して受け入れれば、それができるのです。そうすることによって、私たちは真に永遠の命とともにこの世を去ることができるのです。

讃美歌 488

祈り 親愛なる主よ。私たちの本当の宝物がある場所を、見ることができるように助けてください。あなたから私たちを隔てようとするものを超えて、私たちの人生のためのあなたのご計画とあなたの愛を、私たちが重んじることができるようにしてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ランディ・ロバーツ
ニューメキシコ州 グランツ

今日の力

2014年6月30日～7月6日

翻訳 海澤弘美

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

7月1日(火)

あがめて感謝する

聖書朗読 詩篇 50：1～12

すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光を造られた父から下るのです。
ヤコブ 1：17

私たちの神様がすべての物の最高の創造主であるということは、無神論者と議論するための教義以上の意味があります。これこそが私たちを導き、日々の一時一時にわたって私たちを強めてくれる真実なのです。

私たちは、神様が世界を統制してくださっていると知りながら朝目覚めます。神様だけが、私たちが享受する良いことを感謝するに値する方です。聖書が「恐れよ」というときは、神様に対してのみ畏敬をこめてそのようにするのです。

私たちはなんとなく、私たちが祝福されるのは、自分の行いの良さのためであり、悪いことがおこるのは、神様がご自分の仕事をなさらなかったからだと思いがちです。

実際には、神様には永遠の英知と力があり、常に世界を制御なさっておられます。神様がしようとしなにかぎり、何も良いことはおこりません。神様がなさらないかぎり、私たちの穏やかな暮らしが脅かされることはありませんが、神様が脅威を与えるときには、その限度も設定してください。

私たちは神様の教義によって自分の日を生きることができます。神様は、私たちの罪の身代わりとしてご自分の御子に死を与えられました。これこそが神様の教義であり、それは、力、善悪、肉的なもの、精神的なもの、すべてを超えて永遠に続きます。

讃美歌 345

祈り 親愛なるお父様。あなたが私の岩であり盾であることを私が決して忘れませんように。あなたが与え、あなたが取り去るのですから、私が本当に必要とするものに欠乏するということはないでしょう。

あなたの御名によって祝福されますように。アーメン。

リチャード・E・ウルフ

カンザス州 オラセ

7月2日(水)

立派に歳を重ねて聖書朗読

讃美歌 詩篇 71：17～21

しらがは光栄の冠、それは正義の道に見いだされる。
箴言 16：31

医療や健康管理が良くなったおかげで、今日では昔より健やかに長生きをすることができます。統計によれば、米国人の11人中1人が65歳以上であり、21%が55歳以上だそうです。米国はしらがの国になりつつあります。

古き時代にあつては、使徒パウロがこう記しています。『私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が、それを私に授けてくださるのです。私だけでなく、主の現われを慕っている者には、だれにでも授けてくださるのです。』(Ⅱテモテ 4：7～8)。

古き時代において死の必然性は避けがたいものでしたが、人々は死に人生を占領されないように暮らしていました。人々は一日をしっかりと生き、歳月を楽しみ、神様のご意思を行い、周りの人々を愛しながら、忙しく過ごしたのです。

あなたがたが年をとっても、わたしは同じようにする。

あなたがたがしらがになっても、わたしは背負う。

わたしはそうしてきたのだ。なお、わたしは運ぼう。

わたしは背負って、救い出そう。

イザヤ 46：4

讃美歌 329

祈り 愛するお父様。老年になってさえ、ずっと私たちと共にいてくださることを感謝します。私たちがあなたのご意思を自分たちの人生において行うことができますように、私たちを励ましてください。

イエス様の御名において。アーメン。

S・ビル・ジメネズ

カリフォルニア州 サンフランシスコ

7月3日(木)

神の子

聖書朗読 詩篇 89:15~18

わたしは主によって大いに楽しみ、わたしのたましいも、わたしの神によって喜ぶ。
イザヤ 61:10

私たちは神様の子どもであり、神様の目には特別な存在です。私たちは地上をかたち造るものとして神様のみにこころにかけられています。あなたや私のために、イエス様は十字架にかけられました。神様は私たちが寝ている間も、見守って下さっています。私たちの心の悲しみを聞いてくださいます。私たちの涙をごらんになります。そして私たちのこころの欲望をご存知です。

神様は私たちの賛美を喜ばれ、私たちの祈りのうちに宿ってくださいます。神様は祈る私たちに、地上の王国とそこでの生活に必要なものを喜んでくださいます。

私たちは特別な器につくられたユニークな創造物です。ですから、前に進み、地上を征服し、所有しましょう。神様の聖なる山を相続するのです。私たちは神様の宝なのです。

『しかし、わたしの名を恐れるあなたがたには、義の太陽が上り、その翼には、癒しがある。あなたがたは外にでて、牛舎の子牛のようにね回る。』(マラキ書4:2)。

讃美歌 481

祈り 親愛なる主よ。あなたは、私たちが今まで口にした以上に私たちを祝福してくださいました。私たちは敬虔な心をもって感謝します。私たちは、イエス様を与えられたという喜びに圧倒されています。

イエス様の御名によって永遠に祝福されますように。アーメン。

ジョアン・クレイトン

ニューメキシコ州 ポータルス

7月4日(金)

私たちの余命は数えられている

聖書朗読 詩篇 90:1~10

私たちに自分の日を正しく数えることを教えてください。そうして私たちに知恵の心を得させてください。
詩篇 90:12

私たちはいつも孫たちから離れて暮らしてきました。孫たちは今では立派な大人となりました。彼らが若かったとき、私たちは彼らを訪問しましたが、その訪問の間から間に、孫たちはずいぶんと成長の変化をみせました。私と妻もまた、自分たちが思っている以上に変わったにちがいありません。

私は孫娘の一人が4歳だったころについて覚えています。初めて孫娘の家族を訪問したとき、その子は私のひざの上にはい上がってきて、私をちょっと見上げると言いました。「おじいちゃんにはしわがあるね」。それは25年前のことでした。今日、そのときのしわは3倍に増えています。

私は最近、90歳になったご婦人と話をしました。「私は自分のこの歳を友だちに自慢することさえできないのですよ。みんな逝ってしまいましたからね」と彼女は言いました。老いは私たちを縮めていきます。私たちは同世代の人たちを失っていきます。

若い頃は、人生はいつも「夏」のようだと思っていました。しかし、「秋」や「冬」の人生が、驚きをもって私たちへとやってきます。もし残された日を正しく数えていなければ、フラストレーションが溜まってしまうことでしょう。

どうすればそれができるでしょうか？ それには、明日はないと知りながら一日を過ごすことです。キリストにあるいのちを、毎日いただけることを神様に感謝するのです。キリストの福音を周りの人と分け合うのです。日が沈むまで怒ってはいけません。

讃美歌 409

祈り 親愛なるお父様、たとえ私たちが歳をとって心がつまずいたとしても、あなたの愛と力は変わらないということを私たちは知っています。私たちがあなたを信頼するように、そしてキリストにおいて毎日喜びを見つけることができるようにしてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ロバート・ブレア

アイオワ州 クレグホーン

7月5日(土)

繁 栄 し 続 け る ！

聖書朗読 詩篇 92：4～15

その人は、水路のそばに植わった木のようなだ。時が来ると実がなり、その葉は枯れない。
詩篇 1：3

シニア市民のみなさん。みなさんは退職することや、今よりも速度を落として歩くことや、お気に入りのレストランでシニア割引きの食事をするについて、考えたことがありますか？

これらのこと全部が本当だとしても、詩篇の人は老いるということにちょっと違った見方をしています。それは、老いると繁栄し、成長し、生き生きとし、緑が濃くなって実をならすというのです。詩篇の人はその前の詩篇では、最も高い避難所に暮らすことについて述べましたが、その正しさについてここでも語っているのです。

私の友人は最近80歳の誕生日を祝いながら、主にある繁栄を続けています。やしや杉の木のような深い根、力、そして耐久力をもつての祈りが、彼の生活となっているのです。

彼は、教会員名簿の1ページ1ページの隅々にわたって、その教会に集う人々の名をあげながら祈ります。詳細な市街地図を見ながら、その市に住むすべての人々のために祈ります。国々のリーダーたちの名前が印刷されたリストを使いながら、その一人ひとりの名前を天国のお父様にあげながら祈ります。

彼の寿命は短いかもしれませんが、彼の精神生活は広く深いのです。この人は強さの秘訣を知っていて、その心身には豊かな実りが植え込まれており、主の陰に暮らしているのです。このシニア市民は、繁栄し、実を实らし続けるのです。

讃美歌 413

祈り 神様。あなたに目を向けている男の人たち女の人たち、これらの人々に感謝します。彼らのように、私たちがあなたの中に住み、人生を通して実を实らせることができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

サリー・ジェーン・シャンク

ウエスト・バージニア州 ビエナ

7月6日(日)

嵐の最中にあってもおだやかに

聖書朗読 詩篇 93編

主があらしを鎮めると、波はないだ。波がないだので彼らは喜んだ。そして主は、彼らをその望む港に導かれた。
詩篇 107：29～30

韓国への最初の布教の旅は、日本の貨物船によってでした。それは2週間かかりました。私たちは広大な海に畏敬の念をいだき、自分たちは取るに足らないと感じました。

2週目に、船は台風の端を通り過ぎました。海は荒れ、波が岩のように船にあたり、子どものおもちゃ船のように押し上げられ、恐ろしいと感じました。ひどい船酔いで、船室の寝棚で身を縮めながら、嵐がやむのを待ちました。

私の夫はずっと元気で、船の中を散策していました。彼は船室に駆け込んでくると、静かな場所に連れて行くから寝棚から出るようにと促しました。

夫の後についてデッキに出ると、悲鳴のような強風と荒波に、さらわれそうな恐ろしさを感じました。夫は私を操舵室へと導いて言いました。「さあ、落ち着いて！ここは船長が船をコントロールしている場所だよ。ここでは揺れないし、恐れることなく嵐と向かい合うことができる」。

人生の嵐に向かい合うとき、私たちは自分の個室にちぢみ込んでしまいがちです。そうではなく、神様が制御されていると悟る必要があります。神様は舵手であり、嵐の最中にあってもさえ平静をくださいます。

讃美歌 407

祈り 親愛なる神様。嵐や苦しみの時には、私の舵手になってください。

イエス様の御名において。アーメン。

ジョイス・ハーディン

テキサス州 オースティン